



平成 24 年 10 月 5 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄
 (JASDAQ・コード 6432)
 問合せ先 取締役経営企画室長 神山 輝夫
 電話番号 0268-81-1100 (代表)

平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 4 月 13 日付「平成 24 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成 25 年 2 月期(平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 2 月期 第 2 四半期累計期間業績予想(平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,600	820	890	720	44.09
今回修正予想(B)	23,503	1,284	1,223	1,042	63.80
増減額(B-A)	903	464	333	322	—
増減率(%)	4.0%	56.6%	37.4%	44.7%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年2月期第2四半期)	20,561	402	△187	△470	△28.78

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	260	350	330	20.21
今回修正予想(B)	22,122	1,158	1,016	1,031	63.13
増減額(B-A)	2,122	898	666	701	—
増減率(%)	10.6%	345.4%	190.3%	212.4%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年2月期第2四半期)	18,504	136	△477	△542	△33.20

修正の理由

【連結】

当社グループの米国及び欧州での建設機械の販売台数は、需要が増加したことにより増加しました。これにより売上高は予想よりも9億3百万円増加し235億3百万円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の増加及び原価低減により営業利益は予想よりも4億6千4百万円増加し12億8千4百万円になる見通しであります。経常利益は3億3千3百万円増加し12億2千3百万円、第2四半期累計期間の四半期純利益は10億4千2百万円になる見通しであります。

【個別】

建設機械において米国及び欧州向けの販売台数が増加したことにより、売上高は予想よりも21億2千2百万円増加し221億2千2百万円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の増加、子会社への販売価格の値上げ及び原価低減により、営業利益は予想よりも8億9千8百万円増加し11億5千8百万円になる見通しであります。経常利益は6億6千6百万円増加し10億1千6百万円、第2四半期累計期間の四半期純利益は10億3千1百万円になる見通しであります。

2. 平成25年2月期 通期業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,400	1,270	1,370	1,050	64.29
今回修正予想 (B)	40,400	1,390	1,370	1,050	64.29
増減額 (B—A)	0	120	0	0	—
増減率 (%)	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年2月期)	40,265	1,351	916	440	26.94

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,800	300	940	910	55.72
今回修正予想 (B)	38,200	970	1,320	1,300	79.60
増減額 (B—A)	4,400	670	380	390	—
増減率 (%)	13.0%	223.3%	40.4%	42.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年2月期)	36,715	677	539	295	18.11

修正の理由

【連結】

建設機械の販売台数は、上期は米国及び欧州向けが増加しましたが、下期は債務問題の影響を受ける欧州向け及び経済が減速している中国向けが伸び悩む見通しから、売上高は期初予想通りの404億円になる見通しであります。

利益の面では、下期の外国為替レートを上期よりも円高に予想し営業利益は1億2千万円増加の13億9千万円、経常利益、当期純利益は期初予想通りになる見通しであります。

第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル=78円、1英ポンド=124円、1ユーロ=98円、1人民元=12.3円を前提としております。

【個別】

米国向け建設機械の販売台数の増加及び子会社への販売価格の値上げにより、売上高は予想よりも44億円増加し382億円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の増加及び子会社への販売価格の値上げにより、営業利益は6億7千万円増加し9億7千万円になる見通しであります。経常利益は3億8千万円増加し13億2千万円、当期純利益は13億円になる見通しであります。

第3四半期以降の外国為替レートは、連結と同じレートを前提としております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上